



「共謀罪」法案廃案の大行動を繰り返しています。安倍首相の憲法発言や森友問題の幕引きを許さないなど、多くの市民が立ちあがっています。(5・3 扇町公園)

平和がいちばん

2017年 5月15日

第 119 号

平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会

テロ対策は大嘘 - 「共謀罪」廃案

「共謀罪（テロ等準備罪）」法案が国会で審議中です。刑法の考え方を根本から変え、法務大臣がともに答弁できない法案を審議不十分のまま強行採決することは絶対に認められません。

政府は「国際組織犯罪防止条約」を締結するため「テロ対策」が必要と説明していますが、まったくのデタラメ、まっかな嘘です。国連の責任者が「この条約はテロ対策が目的ではない」と明言しています（5/5朝日新聞）。また日本はすでにテロ防止関連条約のすべてを締結しているし、「テロ」を取り締まる法規定も整備されています。

安倍首相や金田法相は、この「共謀罪」は「一般市民には関係ない」と強調します。これもデマです。首相が言う「一般市民」とは安倍内閣を全面的に支持する人だけです。それ以外の安倍政治に疑問を持

ったり、批判をしたりする人、あるいは労働条件や身分保障に不満を持つ労働者は「一般市民」ではなく、この「共謀罪」の情報収集・捜査の対象にされるのです。労働組合や「〇〇の会」にとどまりません。趣味のサークル、町内会、同窓会なども監視の対象にされ、そのうちの二人以上が「(犯罪の計画を)話し合った」とされたら「組織的犯罪集団」として全員に容疑がかけられます。どこで、だれが、どんな共謀をするかわからないため、会話やメール・LINEや行動など市民生活のすべてが監視される社会になります。

戦前、猛威を奮った「治安維持法」は、一般国民に関係ないといいながら政府批判をする人々を次々と逮捕し拷問しました。この歴史を繰り返してはなりません。「共謀罪」法案は廃案！

【願 い】

澄海

私は 生きたい。
これから先も この国で この街で 家族と一緒に生きていきたい
私の大切な家族をしっかりと守りたい
娘の笑顔を誰にも奪われたくない

『教育勅語』を唱和する幼稚園がマスコミで報道された
同じ幼稚園児を持つ親として すごく疑問に感じた

いろんな考え方の人がいるのだけれど
我が子に『有事の時には 国の為に命を捧げる』と言わせているこ
とに

何も感じなかったんだろうか？

我が子に『嫌なことがあれば暴力で解決なさい』と言うのだろうか？
そのために 『命がけの戦い』もしなさいと教えるのだろうか？

この国は どんどん軍事力を増やしている

『やられる前にやる』のでもなく

『武器を持って相手を威嚇する』のでもなく

『憲法9条を守り 武力をもたず 平和外交で 他国と結び付く』

そんな国になってほしい
子どもに『暴力ではなく言葉で気持ちを伝える』と教えるのと同じ
ことだから

この国を戦場にしたくない

誰も殺し 殺されたくない

銃を構えて訓練する人たちも誰かの大切な存在

そんな人たちを戦場に行かせたくない

この国が戦争をする国になろうとしているなら

それを 自分たちが全力で止めなければ

いつか自分たちの大切な家族が戦場に行ってしまう未来がやってく
る

戦争がどこか遠い国の話ではなく 自分の身近な話になってしまっ
た

私は自分の出来ることから 始めていきたい

(「平和がいちばん」憲法特集号より転載)

手塚たかひろ 議員日誌



4月21日 「共謀罪法を考える集い」開催 講師は永嶋靖久弁護士。一般人や一般団体は対象ではないと政府は言うが、警察の日ごろからの内偵活動がなければ、共謀の事実をつかむことができない。メールもLINEも覗かれる。自分は関係ないと安心はできない。ある日突然、共謀の疑いで警察に呼ばれ逮捕されるかもしれない。犯罪の規定があいまいなで警察の勝手な解釈がまかり通る。安倍自公政権の戦争ができる国づくりに反対させないための悪法だ。個人の尊厳、民主主義、国の未来が危ない。今なら間に合う。廃案に追い込もう。

4月24～26日 自治体議員研修会に参加 主催は大阪社会保障協議会。介護保険、生活保護、子供の貧困、国民健康保険などの問題点を学習。国の社会保障の貧困、公的責任の切り捨てが進んでいる現状を改めて確認した。国が決めたこととあきらめる前に、自治体としてやれることも多い。枚方市に対して福祉施策の充実を求めていく。

4月27日 「高浜原発動かすな」関西電力本社包囲行動 反原発自治体議員市民連盟の一員として参加。関電は高浜原発4号機の再稼働をスタートに次々と他の再稼働も進めようとしている。原発が動かなくても電気は足りている。フクシマ原発廃炉や使用済み核燃料の処理も目途もない。人類は原発を使う能力を持っていない。再稼働反対の声を市民と共同で上げ続けたい。

5月3日 憲法記念日行動 樟葉駅前、枚方市駅で恒例のリレートーク。20名を超える市民と一緒に「憲法を大事にしたい。共謀罪法案反対」のアピールを行い、「平和がいちばん憲法記念日特集号」を配布。その後、総がかり行動実行委員会主催の「憲法をこわすな」集会に参加し、大阪市内をデモ行進した。180000人の市民が参加。広い扇町公園が熱気で包まれた。この力をもっと大きく東ね共同行動を積み重ねれば、野党共闘を強め安倍内閣を退陣させることは可能だ。

4月24日 4月分議員報酬から217,600円を大阪法務局に供託 **私は政務活動費を一円も受け取っていません。**

ホッと タイム

辺野古や高江だけではない 沖縄の基地強化の動き

松田久子



先日、沖縄南西諸島の宮古島から来られた二人の若いママさんの話を聞く機会があった。今、南西諸島の島々が自衛隊の要塞として軍事基地化が進んでいる。マスコミでほとんど取り上げられないため知られていないが、辺野古や高江の基地強化と軌を一にして進んでいる。対中国をにらんでの「島嶼防衛」と言われる自衛隊増強や基地配備の戦略である。

宮古島には、今後700～800人の自衛隊員(警備部隊、地対艦、地対空ミサイル部隊)が配備される予定といわれている。演習場や火薬庫なども作られれば、すでにあるレーダー基地とともに万が一の時には、軍事目標とされ攻撃の対象になる。また宮古島は山がなく川もないため、生活水は地下水が唯一である。その地下水が基地ができることで汚染されればたちまち命にかかわる問題である。このような状況の中で、若いママたちが声を上げ

ている。一人は、まだ1歳の子どもを抱え、もう一人も5歳の母親である。人口5万5千人の島で、基地誘致により地域の活性化を図ろうとする住民と、基地に頼らない美しい豊かな自然を守り観光で地域を活性化させようとする彼女らのような住民とが対立させられている。彼女たちは最新の映画『標的の島 - 風かたか (=風よけ)』の場面にも出てくるように果敢に市長や防衛局、政府に対しても声をあげ、交渉を行う。幼い子どもを抱えながらどこからそんなバイタリティーが出てくるのかと思うが、子育ての真っ最中だからこそ余計に敏感に危険を感じ取っているのではないかと思う。

彼女達が語っていた宮古の言い伝え「汚れは水で洗えるが、汚れた水は洗えない」という言葉が印象的だった

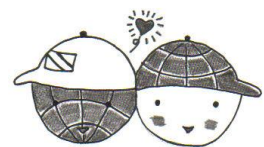
〒573-0027

枚方市大垣内町
2丁目8-27
シンエービル別館A
市民の広場“ひこぼえ”
TEL&FAX
072-846-8780

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)
鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)
奥村 秀二 (弁護士)
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)
事務局長 手塚 隆寛 (枚方市会議員)
スタッフ 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス: hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作

